

2026年度 基金奨学生募集要項

【はじめに】

本書は、公益財団法人グルー・バンクcroft基金2026年度(2027年度派遣)奨学生の募集要項です。最後までよくお読みになってご応募ください。応募に必要な書類や書類提出先は当基金Webサイトに設置された「2026年度基金奨学生募集」ページに全てございます。なお、選考スケジュールや方法等に変更が生じた場合は速やかに基金Webサイトの「お知らせ」にてご案内いたします。こまめに確認をお願いいたします。

以上をご確認されたうえでご不明な点がある場合は、本書末尾の当基金メールアドレス宛にお問い合わせください。事務局の営業時間によりお問い合わせから回答までお日にちを要する場合がございますので予めご了承ください。

【概要】

グルー・バンクcroft基金は、戦前に日米相互理解に尽力した二人の駐日米国大使の名前を冠し、日本と国際社会にとって有益な人材を育成するとともに、日米両国の良好な関係を維持推進することを目的とした公益財団法人です。1928年の設立以来、主にアメリカ各地にある一流の小規模・全寮制リベラルアーツ大学約50大学に奨学生を300名以上派遣し、支援してきました。

この度は、2027年度派遣となる基金奨学生を募集します。当奨学金の募集要項ならびに対象大学は毎年変わっています。以下に続く募集要項をよくお読みいただき、ご応募いただきますようお願いいたします。

これまでの奨学生の留学先、また最近の留学先については、当ウェブサイトの大学情報等をご覧ください。

<https://grew-bancroft.or.jp/university/>

*リベラルアーツ大学とは、通常学生数が約2,000人の四年制教育を主体とした大学です。ほとんどの学生がキャンパス内に居住し、少人数制クラスで指導熱心な教授による密度の高い授業によって、自然科学、人文、社会科学各分野の幅広い学問を学び、探究型の高品質な知的訓練を受けることができます。また、卒業生の多くは著名な総合大学の大学院に進学しています。

【支援概要】

当基金奨学金は返済義務がない給付型です。選出された全ての奨学生は、歴史ある当基金の奨学生として最善を尽くし、卒業後は社会に大いに貢献することが期待されます。

今回募集する奨学金は、奨学金1～4の全4種あります。いずれも他の奨学金との併給が可能ですが、大学からの学資援助 (financial aidやscholarship)・当基金奨学金・他の奨学金の合計額が予想される経費を上回る場合は、当基金からの奨学金を減額します。

応募時には、全4種の奨学金の中から必ず一つは選択してください。第2希望までご提示いただけます。いずれの奨学金枠においても、当基金奨学生としての選出は、当基金からの推薦を受けて大学へ出願する権利を得ることであり、出願大学への合格を確約するものではありません。奨学金2、3については、当奨学金合格時に、当基金を通じて出願する大学を選考過程をもとに決定して同時に通知いたします。

奨学金2、3、4は原則Early Decisionによる出願が条件となります。Early Decisionとは、合格した場合必ずその大学に入学する義務のある出願方式ですので、合格した場合その大学に必ず進学していただきます。締切が早いものは毎年11月1日と早期に設定されています。ただし、Early Decisionがない場合、または11月1日の1回のみの場合はその限りではありません。

大学への願書の作成と提出はご自身で行っていただきます。当基金奨学生として選出されたうち希望者は、出願準備中、当基金の在學生や卒業生からエッセイ指導をはじめとしたサポートを無料で受けることができます。

提携大学のうち、以下の大学については、日本国籍に加えて米国国籍を保持する者は選考対象外となります。

- DePauw University
- Grinnell College
- Knox College

提携大学のうち、以下の大学については、すでに日本の大学に在籍する者は選考対象外となります。

- 奨学金2対象校（DePauw University, Grinnell College, Union College）
- Knox College
- Lewis & Clark College
- Mount Holyoke College（捨松スカラーとしての出願は可能だが、大学からの年間35,000米ドル支給対象外）

	大学からの奨学金額	当基金からの奨学金額	出願大学指定	募集人数
奨学金1	可能性低い	年間80,000米ドルを上限に4年間	なし 但し、当基金が認めるリベラルアーツ大学に限る	1名
奨学金2	授業料全額免除2校、55,000米ドル免除1校	年間15,000米ドルを上限に4年間	あり	提携大学へ各1名の計3名、但し、既に日本の大学に在籍する者は対象外
奨学金3	提携大学による	4名に年間12,000米ドルを上限に4年間、1名に寮費(Room&Board代)を4年間	あり	提携大学へ各1名の計5名
奨学金4 捨松スカラーシップ	出願者による	年間65,000米ドルを上限に4年間	あり 捨松スカラーシップ対象6校より選択	1名 但し、女子生徒のみが対象

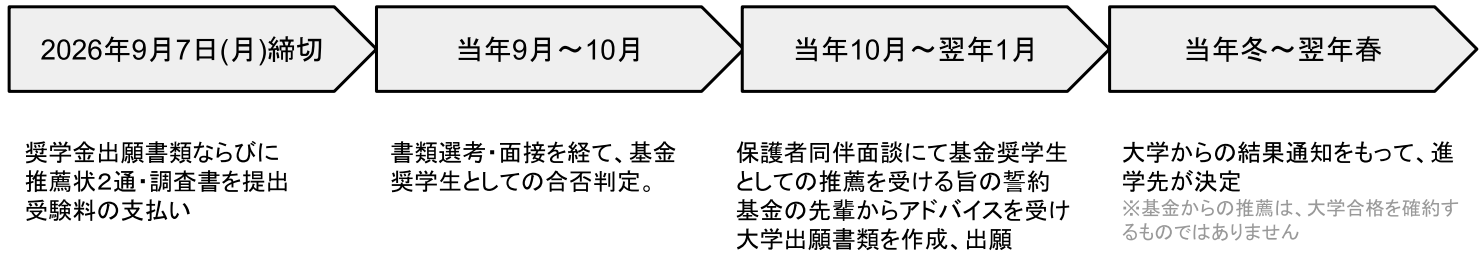
各奨学金の詳細については、【奨学金詳細】をご確認ください。

【奨学生としての義務】

基金奨学生として選出された場合、在学中は以下の義務がございます。

- 日本国籍の維持
- 報告書と成績表の提出（学期ごと）
- 月1万円の保護者負担金支払い

【基金奨学金出願から進学先決定までのタイムライン】



【応募資格】

以下の**5つ全て**に当てはまる者のみ応募資格を有します。なお、応募資格を満たさないにもかかわらず出願をされた方の受験料の返金対応はいたしかねます。

1. 当基金の趣旨を理解し賛同すること（本紙【概要】1段落目を参照）
2. 在学期間中を通じて日本国籍を有すること
*保護者同伴面談時に、戸籍謄本またはパスポートをご持参いただきます
3. 家計支持者の所得金額（共働きの場合は合算額）が2千万円以下である者
*保護者同伴面談時に2025年度の課税証明書を提出いただきます。所得制限については例外なく一律で考慮させていただいております。海外勤務手当についてはFAQをご確認のうえご相談ください。
4. 応募時に米国の大学に入学していない、または、入学予定がないこと
5. 下記a, b, cのいずれかに当てはまること
 - a. 学校教育法第一条で規定されている高等学校第3学年在学中で2027年6月までに卒業見込みがある者、または2026年3月以降に卒業した者
 - b. 当奨学金出願時点で高等専門学校第3学年か第4学年に在学中の者
 - c. 学校教育法第一条で規定されている学校以外（例：国内インターナショナルスクール、フリースクールや海外現地校など）に所属し2027年6月までに卒業の見込みがある者や2026年3月以降に卒業した者については、以下のi, iiの**いずれか**の条件を満たすこと
 - i. 学校教育法第一条で規定されている小学校・中学校・高等学校の課程を計8年以上履修している
 - ii. 当奨学金出願時まで高卒認定試験に合格している

【奨学金詳細：奨学金1】年間80,000米ドルを上限に4年間支給（計1名）

自ら志望し、合格した米国のリベラルアーツ大学（基金が認めるものに限る）に進学する者に対して、年間80,000米ドルを上限に4年間支給します。出願時は、最大2大学まで基金奨学生として推薦を受けることができます。出願者の経済的状況等によっては、出願先から追加の奨学金を受け取ることができる可能性があります。その可能性は極めて低いと考えられます。

過去5年の奨学生の進学先は右記の通りです。Pomona College、Swarthmore College、Barnard College、Williams College、Harvey Mudd College

【奨学金詳細：奨学金2】奨学金年間15,000米ドルと提携大学へ授業料一部または全額免除の推薦 (各大学1名、計3名)

下記の提携大学の授業料免除枠へ各大学1名ずつ推薦し、加えて基金より毎年15,000米ドルを上限に4年間支給します。大学から追加で奨学金を受給できる可能性は低いとお考えください。既に日本の大学に在籍している場合は、この奨学金へは応募できません。

提携大学	2026-27年度 授業料(参考) *免除対象	2026-27年度 寮費(Room&Board)など(参考)	基金からの 支給額
DePauw University	\$63,960 *内、55,000米ドル免除	\$16,240	年額15,000米ドルを上限に 4年間
Grinnell College	\$73,582 *全額免除、ただしご家庭の経済状況によって授業料全額免除にならない場合があります	\$17,784	年額15,000米ドルを上限に 4年間
Union College	\$74,385 *全額免除	\$18,324	年額15,000米ドルを上限に 4年間

2026年4月時点。最新の情報は各大学HPをご参照ください

【奨学金詳細：奨学金3】奨学金年間12,000米ドル*と提携大学へ授業料一部または全額免除の推薦 (提携大学各1名、計5名)

下記の提携大学の授業料免除枠へ各大学1名ずつ推薦し、加えて基金より毎年12,000米ドルを上限に4年間支給します。

*Ohio Wesleyan Universityについては、12,000米ドルの代わりに有志卒業生のご寄付により寮費(Room&Board)を全額支給いたします。

提携大学	2026-27年度 授業料(参考)	授業料免除額	2026-27年度 寮費(Room&Board)など (参考)	基金からの 支給額
Knox College	\$61,998	授業料全額免除	\$11,862	年額12,000米ドルを上限に 4年間
Lake Forest College	\$60,204	授業料の内、40,000米ドル免除	\$13,546	年額12,000米ドルを上限に 4年間
Lewis & Clark College	\$70,658	授業料の内、45,000米ドル以上を免除	\$17,150	年額12,000米ドルを上限に 4年間
Ohio Wesleyan University	\$55,416	授業料全額免除	\$16,560	年額の寮費(Room&Board代)を上限に4年間
The College of Wooster	\$66,290	授業料の内、50,000米ドル以上を免除	\$16,050	年額12,000米ドルを上限に 4年間

2026年5月時点。最新の情報は各大学HPをご参照ください

【奨学金4「捨松スカラーシップ」】年間65,000米ドルを上限に4年間支給（女子1名）

女子生徒1名を「捨松スカラー」として選出し、年間65,000米ドルを上限に4年間支給します。女性リーダーの育成に実績のある以下6大学が「捨松スカラーシップ」対象大学となり、原則これらいずれかの大学へ進学することが条件となります。基金からはこれら全6大学へ推薦状を送付することが可能です。なお、1期生から3期生まで3名全員が、大学から補助的な奨学金を得て進学しております。

対象大学	2026-27年度 授業料	2026-27年度 寮費など	区分	備考
Barnard College	未定・2025-26年度は \$70,644	未定・2025-26年度は \$22,691	女子大学	
Bryn Mawr College	\$71,290	\$21,440	女子大学	
Mount Holyoke College	\$71,178	\$21,596	女子大学	当基金との提携により、大学からの奨学金年間額35,000米ドルとの併用可、但し既に日本の大学に在籍する者については併用不可 捨松スカラー2期生進学先
Smith College	\$70,460	\$24,520	女子大学	捨松スカラー3期生進学先
Vassar College	\$76,140	\$19,800	共学	大山捨松卒業大学
Wellesley College	\$72,570	\$23,206	女子大学	捨松スカラー1期生進学先

2026年5月時点。最新の情報は各大学HPをご参照ください

選考スケジュール

	期間	結果通知日（メール）
本募集要項公開	2026年5月29日(金)	-
募集要項説明会	2026年6月27日(土) 午前10時～正午 *参加は任意です。選考には影響しません。後日説明部分の録画映像を公開します。	-
出願受付	2026年7月1日(水)～同年9月7日(月)23時59分 推薦状・調査書も含めて全て締切必着	-
書類選考	2026年9月12日(土)～同月19日(土)	2026年9月24日(木)
面接試験	2026年10月11日(日) 東京都内面接会場またはオンラインにて	2026年10月13日(火)
保護者同伴面談	2026年10月17日(土)（予備日：翌18日(日)） 基金事務局またはオンラインにて	-

出願手続き

以下に記載の全ての手続きを出願受付期間内にお済ませください。如何なる理由においても、期日を過ぎての出願、追加書類の事務局への到着は認められません。

1. 【ネット出願】にて、選考書類を提出ならびに受験料10,000円のお支払い
2. 【調査書・推薦状アップローダー】にて、担当者より推薦状、調査書の提出

《注意事項》

- 毎年締切の一週間前からお問い合わせが大変多くなりますが、締切までに当事務局に届かない場合は**全て無効**です。必ず早い段階から準備を始め、時間に余裕を持って全ての書類を揃えて提出するようにしてください。また、締切直前であっても、当基金事務局の営業時間外には対応いたしません。
- 原則、基金から不足している書類・手続きについて確認の連絡は差し上げません。翻訳の対応もしておりません。出願者が責任を持ち、各者と連携してください。
- 出願者本人及び調査書・推薦状担当者の連絡先の登録を間違えられると当基金から連絡を取ることは不可能ですので、入力時は間違いがないよう必ず十分にご確認ください。また、原則出願者本人以外からのご連絡はご遠慮いただいております。
- 高校在学中に留学された方は、現在の所属校と留学先の学校、両校の調査書の提出が必要です。いずれの書類も日本の大学受験時に用いられるものと同様の書式でご提出ください。ただし、留学先の学校が発行する書式が上記に沿わない場合や、成績が五段階評価でなく学校が読み替えに対応していない場合は、留学中の正式な成績表 (transcript) に、①評価基準の説明、②学年での順位、③課外活動、の3点について、カウンセラーや担任によるコメントを添えてご提出ください。

(A) 証明書を要する出願書類		
	書類	備考
(1)	英語能力試験スコア *利用可能なテストは、TOEFL iBT, IELTS, Duolingoのみです。	証明書のスキャンまたはスコアのスクリーンショット。 MyBestScoreやSuperscore (など、複数回のベストスコアを並べたもの) や左記以外のテストは認めません。
(2)	SAT, ACT, IBまたはAPのテストスコア	提出は任意
(B) エッセイ (日本語) のお題		
	テーマ	制限文字数
(1)	志望大学3つと各大学の志望理由	各大学それぞれ40字以内
(2)	過去3～5年間で最も注力したこと	300字以内
(3)	学校における委員・役員等の経験とそこから得られた学び	300字以内

(4)	これまで携わってきた主な課外活動。選手・代表・受賞等の経験がある場合は、該当する大会等の内容・成績・入賞について言及すること	300字以内
(5)	趣味、特技、好きな学科。何らかの資格や受賞経験等がある場合は、それについて言及すること	300字以内
(6)	自己の性格・アピールポイント	300字以内
(7)	現在所属する高校、または卒業した高校を選択した特別な理由があれば記入	200字以内
(8)	米国大学進学希望理由と将来の抱負	800字以内
(C) 出願者本人以外が提出すべき書類		
	書類	備考
(1)	調査書1通 ただし、高校在学中に留学した場合は、現地校の調査書が別途必要	日本の大学受験時に用いられるものと同様の書式、成績は五段階表示 上記書式に沿えない場合は、本書「出願手続き」内《注意事項》をご参照ください
(2)	推薦状2通 右記1, 2のカテゴリーからそれぞれ1通	特設Webページより様式をダウンロードしてください。様式上の質問に答えていれば様式を使用しなくても問題ありません。 (1) 担任教員またはカウンセラー (2) 応募者をよく知る人物（親族や同世代の友人を除く）

Frequently Asked Questions よくあるご質問

【奨学金の内容について】

01. 毎年何人くらい応募するのですか？

毎年変動しますが、過去2年間は、年に約80名～の応募がありました。また、奨学金枠によって出願人数が異なります。ご参考として、2025年度は、奨学金1に31名（合格1名）、奨学金2に24名（合格4名）、奨学金3に19名（合格6名）、奨学金4に14名（合格1名）の応募がありました。

02. 選択した奨学金枠以外の対象者としては考慮されませんか？

奨学金枠は、第二志望までご提出いただけますのでよくお考えになってください。また、各奨学金の出願状況によっては、選択されなかった奨学金の対象として考慮される可能性はあります。第二志望を書かないことが有利に働くことはありません。

03. 出願時に志望大学と書いた大学以外に進学した場合、奨学金はもらえますか？

選出された奨学金枠の規程に反していなければ受給可能です。

04. 基金からの推薦を得て提携大学に合格した場合、入学する義務は生じますか？

基金から授業料免除の推薦を受けて提携大学（奨学金2、3）または対象大学（奨学金4）に出願する方は、合格した場合に当該大学に進学することを確約していただきます。いずれも保護者同伴面談にてご説明し、当月中に誓約書を提出していただきます。

05. 基金奨学生に選出されなかったのですが、基金に推薦状を書いてもらえますか？

申し訳ございませんが、対応しかねます。また、当基金奨学生に選出された方のお名前は提携大学に伝えておりますので、選出されなかったにもかかわらず選出されたと偽って大学に出願しないようお願いいたします。

【応募資格について】

01. 海外からでも応募はできますか？

募集要項の応募資格を満たしていれば、海外在住の方でも応募できます。英語スコア提出義務は他の方と変わりませんのでご提出ください。

02. リベラルアーツ大学と総合大学の両方が志望大学にある場合は応募できませんか？

本奨学金への出願はしていただけますが、基金奨学生として選出された場合はリベラルアーツ大学への出願ならびに進学が必須となります。

03. 家計支持者の所得額はどのように証明するのですか。

2025年について、市区町村が発行する所得証明書(課税証明書)を提出いただき、その合計所得金額を以て判断します。また、譲渡所得等で2025年の所得が一時的に多い場合には、2024年の合計所得金額を、2024年も一時的所得がある場合は2023年の合計所得金額を以て判断しますが、2022年以前に遡っての判断はしません。所得証明書(課税証明書)については保護者同伴面談にご持参いただきます。

04. 2026年に家計支持者が退職し、それ以降所得が減少する場合は考慮してもらえますか？

所得の証明が困難なため、考慮しかねます。

05. 海外勤務手当を含めると2,000万円を超える可能性があります。日本で働いた場合の年収証明書でも応募できるのでしょうか？

所得証明書(課税証明書)と合わせて会社からの年収証明書を提出していただき、海外勤務手当を差し引いた金額が所定の金額以下であれば例外として認めることがあります。

06. 海外在住のため、市区町村が発行する所得証明書(課税証明書)を提出することができません。勤務先の会社が発行する収入証明書でも代用できるでしょうか？

勤務先が発行する収入証明書で代用可能です。

07. 子どもが複数名いるのですが、所得制限において考慮してもらえますか？

所得制限については以上の場合を除き、例外なく一律で考慮させていただいております。

08. 合格後、所得が2,000万円を超えてしまった場合奨学金が打ち切られることはありますか？

合格後の所得金額についてはモニターしていませんので、奨学金が打ち切られることはありません

【応募書類について】

01. 志望大学の記入欄に3大学までとありますが、それ以上ある場合はどうすれば良いですか？

志望大学は優先順位の高い3大学まで選んでください。また、出願に興味のある大学については、3大学に限定する必要はありません。面接にて改めて志望大学をお伺いします。

02. 提携大学に関しては、いつ第一志望であることを伝えればよいのですか？

当基金への奨学金出願時点で第一志望であることが分かっている場合は、その旨を志望大学欄にお書きください。面接試験時にも再度志望大学の調査を致します。

03. 英語のスコアは公式のものが必要ですか？

受験生の氏名とスコアの内訳が表示されていれば、テスト結果画面のスクリーンショットでも受け付けます。

04. 推薦状は英語でもよいのですか？ 所定の用紙を使わなければいけませんか？

推薦状は日本語でも英語でも構いません。所定の用紙に記されている質問事項について答えていれば所定の用紙以外でも構いません。

05. 推薦状2通のうち1通「推薦状2」は「応募者を良く知る人【親族や同世代の友人を除く】」からとなっていますが、具体的にはどのような人を指すのでしょうか？

担任以外の学校の先生、習い事やボランティアなど課外活動の関係者、などを想定していますが、これに限りません。

06. 今年度になって担任が代わりました。昨年までの担任に推薦状1を書いてもらいたいのですが、良いのでしょうか？

推薦状1は、原則3年次の担任教員に書いていただくようお願いします。ただし、担当期間があまりにも短く推薦状執筆を該当教員に断られた場合には、2年次の担任教員に書いていただいても構いません。その場合であっても、学年順位や応募者の学業に対するコメントを含めていただくようお願いします。

07. 校内成績順位がつかない学校に通っています。推薦状にはどのように記載したら良いのでしょうか？

成績の基準や評価数値の分布、校内試験結果に関するコメント等、出願者の学業面に関して理解が促進されるよう推薦状をお書きください。

08. 海外の高校に通っているため日本の様式に則った調査書や担任による推薦状が提出できません。

日本の様式に則った調査書が提出できない場合は、本書「出願手続き」を参照し必要書類をご提出ください。担任やカウンセラーによる推薦状の提出が難しい場合は個別にお問い合わせください。

09. 推薦状や調査書提出担当者は入力後に変更することはできますか？

システムの仕様上、出願書類提出前であっても変更は認めませんので、入力前によくお考えになってください。

10. 推薦状や調査書担当者への【調査書・推薦状アップローダー】初期案内メールはいつ届きますか？

システムの関係上、入力完了後最長24時間かかります。また、迷惑メールフォルダに入っている可能性もございます。24時間を過ぎても届かず、迷惑メールにも入っていない場合は、恐れ入りますが下記ITサポート宛へご連絡ください

お問い合わせ先

公益財団法人 グルー・バンクcroft基金
〒106-0047 東京都港区南麻布2-8-21 SNUG MINAMI-AZABU 301

E-mail apply@grew-bancroft.or.jp 応募に関するご質問は、メールにてお願いします。

【調査書・推薦状アップローダー】に関するお問い合わせは右記ITサポートまでお願いします。 it@grew-bancroft.or.jp

別添

2026年度基金奨学生募集特設Webページ：<https://grew-bancroft.or.jp/description2/>

当基金では、在校生・卒業生が自身の所属校について特徴や生活を記した記事を公開しています。よろしければ参考にご覧ください。

【大学情報】

<https://grew-bancroft.or.jp/university/>

【基金生の声】

<https://grew-bancroft.or.jp/message/>

【基金生ブログ】

<https://grew-bancroft.or.jp/blog/>

【YouTubeチャンネル】

<https://www.youtube.com/@GrewBancroft>

【Instagramアカウント】

https://www.instagram.com/grew_bancroft